

元気いっぱい子育てサロン



主な内容

| | |
|---------------|--------|
| 12月定例会 | P 2~3 |
| 一般質問 | P 4~13 |
| 委員会活動報告 | P14~15 |
| 議会活動報告 | P16~18 |
| きかい応援レター | P19 |
| みんなでやっとるで～ほか… | P20 |

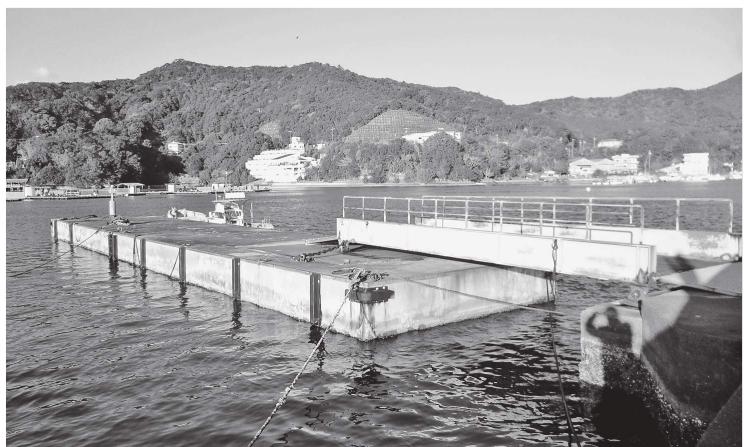
重点事業と注目ポイント

12月10日から12日までの日程で、令和元年第4回南伊勢町議会定例会が開催され、補正予算案7件、条例案9件、指定管理者の指定について1件、あらたに生じた土地の確認について1件、字の区域の変更について1件、工事請負契約の締結について1件が提案され、すべて原案通り可決・承認されました。また各常任委員会に付託されていた平成30年度一般会計歳入歳出決算をはじめとする8件の決算認定について委員長報告が行われました。

一般質問では、議員9名が質問を行いました。

議案第69号 令和元年度南伊勢町一般会計補正予算（第6号）

台風、大きな波浪に 負けない桟橋へ



迫間浦漁港浮体式桟橋の機能保全工事が行われる。
アンカーチェーンの施工について、材質及び部材の再検討が必要となつたことから、標準工期に対して不測の日数を要するため、翌年度予算に繰越されることになった。

漁港機能保全事業

6146万円

議案第69号 令和元年度南伊勢町一般会計補正予算（第6号）

安い全運転への意識向上を



近年急増する交通トラブルを受け、万が一の事故の際に、その原因と責任を明確にするため、公用車へドライブレコーダーが取り付けられます。

公用車、全車両へ

ドライブレコーダー装備

243万円

平成30年度決算委員長報告

各常任委員会に付託された決算審査について審議された結果、賛成多数および全員賛成で認定されました。

▼各常任委員会での主な質疑

答弁

目標は86%としている。30年度はここ数年では低い状況でした。住民にはかかりつけ医を町内機関で持つてもらい、高度な治療が必要な時は伊勢日赤などに搬送して治療できるよう日頃から連携している。

町立南伊勢病院への質疑

病床利用率75・5%だったことについては。

より高い河川は少なく、一部人家より高い河川については裏法面の補強を県の工事で行っている。



観光商工課への質疑

みなみいせ商会に対しての町民認知度の低さは。

建設課への質疑

確かに認知度は低い状況にある。みなみいせ商会で協議していき、町内向けのPRもぜひやっていきたい。

答弁

風水害による河川堤防決壊の報道が増えるなか、当町の河川堤防の状況は。

町内では維持修繕工事を行っているが、改良工事は行っていない。当町は人家



議案に対する議員の表決状況（賛否の分かれたもの）

| 政 党 | 議 員 名 | 無所属 | | | | | | | | 共産党 | | | |
|-------------------------------------|-------|------|--------|-------|--------|------|-------|---------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | | 森 源久 | 舌 古 傳夫 | 倉 田 育 | 河 村 健志 | 西 則孝 | 掛 橋 靖 | 田 中 喜一郎 | 岡 本 真 | 東 伊 久雄 | 松 葦 和久 | 上 村 久仁 | 岡 田 和夫 |
| 議案名等 | | | | | | | | | | | | | |
| 認定第1号 平成30年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● ● |
| 認定第2号 平成30年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● ● |
| 認定第6号 平成30年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ ● ● |
| 認定第8号 平成30年度南伊勢町病院事業会計決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● ● |

*表決 (○=賛成、●=反対、退=退席、議=議長)

*政党 (無=無所属、自民党=自由民主党、共産党=日本共産党)

*議長は表決に加わらない。

あなたの声を町政に!!



一般質問

議員の Question 行政の Answer

一般質問は、議員が自分自身の考え方や町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

| 質問議員 | 質問事項 | ページ |
|---------|---|-----|
| 森 源 久 | ①学校教育 ②情報化社会における取組 | 5 |
| 掛 橋 靖 | ①バイオマス発電事業への取組みと、ゴミ処理施設の今後について ②南島地域における小学校の統廃合と、今後について | 6 |
| 倉 田 育 | ①児童・生徒の成長を支える場にふさわしい環境づくりについて ②ハンドル形電動車いす（シニアカー）の普及と支援、道路の整備状況について ③近年、新たに制定した町の各支援策の住民周知について | 7 |
| 河 村 健 志 | ①避難所のエアコン整備について ②応急仮設住宅の設置に関するガイドラインについて | 8 |
| 田 中 喜一郎 | ①病気予防・介護予防関連について ②開院1ヶ月を迎えた、町立病院関連について | 9 |
| 西 则 孝 | ①森林經營管理法による、本町の林業の振興施策について | 10 |
| 岡 本 真 | ①ふるさと納税について ②みなみいせ商会について ③防災対策について | 11 |
| 岡 田 和 夫 | ①精神障がい者に対する福祉医療制度の改善を ②南海トラフ巨大地震など大震災時の二次避難所の運営について ③大規模災害による長期間停電の想定と対策について ④大規模災害時の通信の確保について | 12 |
| 手 塚 征 男 | ①2次避難所問題について ②消防団女性団員のトイレ問題について ③資源ごみについて ④公衆トイレ問題について ⑤下水道問題について | 13 |

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会で会議録に基づいて編集し、要約しています。
詳細は議会事務局にお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

次回定例議会（予定）

3月
議会

3月3日～3月24日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆様の傍聴をおまちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164



森 源久 議員



Rock, Paper, Scissors!

Q 国が策定した「第5期 科学技術基本計画」の中で「世界に先駆けた超スマート社会の実現」と明記されたが、これに関わっていく分野、形態について、どのように考えていくのか。

今後は、役場の業務に、AI（人工知能）などの活用を検討し業務の改革を行い、住民サービスがより向上するよう検討を行っていく。

Q 来年度より、国の施策として、小中学校における英語教育並びに、プログラミング教育が行われるが、学校の体制と、先生達の準備は十分に行われているのか。

A 教育長 令和2年度から小学校において外国語（英語）の教科化と、プログラミング教育が実施される。実施に向け、校内研修を中心に戸教育委員会主催の研修会への参加や、県教育支援事務所、度

会郡指導主事室と連携した研修の実施等、指導側の準備を行ってきた。

今後も、教職員の指導力向上のための研修を推進していく。

先生達の準備は 研修を推進していく

超スマート社会の実現は 向上するよう検討

A 町長 新絆プランにおいて、V字回復戦略の一つに業のイノベーション戦略プロジェクトを位置づけ、「Society5.0」を取り入れていきたいと考えており、ドローンの活用や河川の水位計の設置などの取組を始めている。

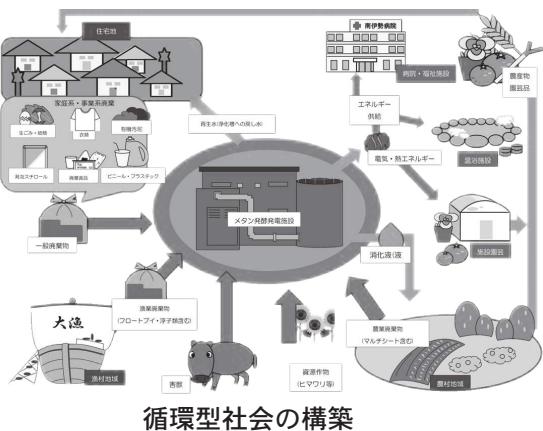


災害リスク監視

目指すべき将来像は 町長 循環型社会の構築を



掛橋 靖 議員



A 町長 クリーンセンター
クリーンなんとうの
焼却炉が老朽化のため基幹
改良が必要となり、それに
は多額の経費がかかること
から、バイオマス発電事業
についての検討を行った。

**Q バイオマス発電事
業への取組と、ゴ
ミ処理施設の今後につ
いて、取り組や現状の課題、尚且つ
急速に進む少子高齢化と、
人口減少を踏まえた上で、
目指すべき将来像は。**

人口減少、少子高齢化の
進展により家庭からのゴミ
が少くなり、バイオマス
資源が減少することが考
られるが、メタン発酵によ
る液肥を活用し、耕作放棄
地での農福連携などによる
エネルギー資源作物の栽培
も検討している。
亞臨界水処理装置を活用
したバイオマス発電により、
環境にやさしい循環型社会
の構築を目指していく。

**Q 当町の未来を託す
子どもたちが、更
に自ら学ぶ力をつけ、持つ
ている可能性を伸ばすため
に、統廃合の準備や計画、
新たな学校創設なども踏ま
えた環境整備の構築は。**

**A 教育長 具体的な
小・中学校の統廃
合に向けた準備・計画は
行っていないが、若者世代
が安心して子育てができる
町として、学校と保護者、
地域の方々が同じ思い持つ
て、地域の子どもを育てて
いくことが、少子化の進む
当町では、特に重要である
と捉え、進めている。**

当町の未来は

教育長 同じ思い持って



受け継がれる思い



倉田 育 議員



気を付けてゆっくりと!!

A 町長 若者移住定住の取組等も含めた地域ブランドメッセージの構築や、定住・交流人口の増加と当町の認知度向上を目的に、「まちの魅力発

信プロジェクトチーム」を立ち上げ、新たな情報発信の方法や仕組みを検討していく。町内においては、この情報は、どういった方が欲しいと感じているかなどをニーズの調査検討を行い、「欲しい情報を、欲しいときに、欲しい方へ」届けられるようにしていきた

Q シニアカーの普及と支援、道路の整備状況について、当町にマッチした「安全運転のためのガイドライン」を作成し、利用者を対象とした交通安全教育の確立や、安全な乗り方を指導するシステムの検討は。

A 町長 警視庁が財団法人日本交通管理技術協会に委託し作成した、「電動車いすの安全利用の手引き」を活用し、電動車いすの交通事故を減らすため、伊勢警察署や南伊勢町交通安全協会と連携し、

広報誌やホームページによる啓発・普及活動を実施していきたい。

乗 り 方 の 指 導 は 町 長 啓 発 ・ 普 及 活 動 を

各支援の周知は

町長 欲しいときに



ホームページ以外にも様々なSNSを活用し情報発信を行っています。左記QRコードより見ることができます。

避難所への設置は 町長 検討していく



河村 健志 議員



快適ですね～

Q

警戒レベル3の防
災気象情報の発令

時には、避難の呼び掛けが必要である。避難所にまだエアコンが設置されていない所があるが、どのように考えのか。

A 町長 近年、台風の大型化や集中豪雨等による住民の避難が多くなっている。国の避難勧告ガイドラインや町のタイムラインの運用等により、明るいうちの早めの避難を呼び掛けていることからも、風水害の避難所へのエアコン設置について検討していく。

A

町長 近年、台風の大型化や集中豪雨等による住民の避難が多くなっている。国の避難勧告ガイドラインや町のタイムラインの運用等により、明るいうちの早めの避難を呼び掛けていることからも、風水害の避難所へのエアコン設置について検討していく。

模災害時、応急仮設住宅の適用となる大規

A

町長 災害救助法

用地リストを準備し、災害後すぐに活用できるようになっておく必要があるが、町はどこまで準備しているのか。

Q 津波等の大規模災害発災時、20日以内に仮設住宅建設に着手できること、事前に建設可能

建設は三重県が被災者に対して供与する。県は応急仮設住宅マニュアル、事前準備として応急仮設住宅リストを作成。毎年、町への建設候補地の調査があり、浸水区域外での必要な面積の確保、ライフラインの整備を考慮した上で、4カ所の候補地を報告。より適切な仮設住宅の候補地を模索している。

リストの準備は

町長 県に報告している



しばらくはこちらで...



田中喜一郎 議員



えるがあ体操です

予防の取組は

町長 訪問等を実施

Q 国は来年度予算で病気予防・介護予防等に成果を上げた自治体に手厚く配分する交付金を大幅拡充させることですが、現在、病気予防・介護予防に関する町の取組は。

A 町長 病気予防では、特定検診、定期保健指導、後期高齢検診、人間ドック、各種がん検診等を実施し、病気の早期発見に努める。

介護予防では、運動と栄養、社会参加によるフレイル予防を柱として位置付けている。タオルを使った体操「えるがあ教室」、ゴムバンドを使つた「はつらつ健脚運動」、栄養士による食生活に関する話と試食「はつらつ栄養教室」を実施。

他に、町民包括評価のアンケートから、お宅訪問による状況の確認や、介護予防情報の提供、健康関連企画への参加を勧める「高齢者訪問事業」も行つてゐる。

見えてきた課題は

町長 改善を図る

Q 11月8日に外来が始まり、新病院がスタートした。愛され、利用して頂くためには早めの課題解決が必要であるが、見えてきた課題は。

A 町長 診療の流れや案内表示板等について、いくつか指摘もあり、対応できるところから改善を図つてゐる。病院への交通手段として新たに運行したループバスの利用状況は1日平均で延べ28名。今後さらに多くの方々に利用してもらえるように、周知とサービスの向上に努め



新町立南伊勢病院

林業施策の取組は 町長 調査及び整備を



西 則孝 議員

A 町長 生産林の育成を支援する生産林間伐促進事業での作業道整備や町有林の除伐、森林環境創造事業での受光伐等の森林整備等を行っている。今年度から1地区で森林所有者に対し意向調査を行う。また、継続事業として「みえ森と緑の県民税」を活用した危険木除去事業を今年度は4地区で行う。

Q 現在の林業施策の取組は。



荒廃した森林



整備された森林

A 町長 就業者数は、昭和50年の98人から、40年間で71人減少し約3分の1の人数である。衰退の原因としては、木材価格の低迷や作業道の整備が不足しており、また、森林所有者の高齢化や担い手不足、転出等による森林所有者の町外在住等により適切な管理がされていない森林の増加等が挙げられる。

Q 林業就業者数の推移と林業衰退の原因について、どのように分析するのか。



岡本 真 議員



目指せ販路拡大

A 町長 今までの災害による教訓から、当町では河川の水位がわからるよう、水位標を設置しており、河川が大雨等により

Q 本年は台風の襲来が多く、巨大化した台風が各地に大きな風水害をもたらした。そこで、この台風から学んだことを生かして当町の強化すべき防災対策は。

洪水警報レベルに達する前に河川水位の情報発信することで、早めの避難ができるようにしている。また、住んでいる地域の危険場所や避難場所等を作成し、防災・減災対策を取り組む。

Q みなみいせ商会について、町長として今の時点でのスタンスはどうあるべきと考えているのか。

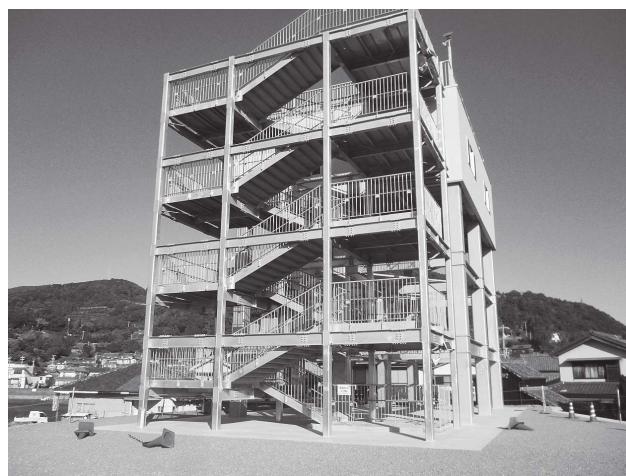
A 町長 経営に関しては現状を踏襲することに変わりないが、更に経営の安定化に向けて努力していくと共に、今後、新たな事業を取り込むことになった場合や地域商社として社会的責任のある業務

を展開していくことになるば、より一層関与を強めていくことになると考えている。

町長 安定化に向けて

防災対策は

町長 早めの避難



安全な場所に避難

福祉医療制度の改善は

町長 助成制度の向上を



岡田和夫 議員



まずは地域医療へ

Q 精神障がい者に対する福祉医療制度の改善について身体障がい者と比べ遅れている場合、即改善すべきと考えるが。

A 町としては、所得制限をなくして助成している。制度の改善についての考えは、県や他市町の動向を見ながら、助成制度による受給者の保健の向上と福祉の増進を図っていきたい。

大規模災害による
長期間停電について
当町の想定と対策は。

長期停電の対策は

町長 発電機を備えて



押渕変電所

A 町長 停電対策として、灾害本部等、公共施設に発電機を備えている。
早期復興、復旧のためには電力会社に対し変電所の災害時の対応や高台移転について要望していく。



手塚征男 議員



まちの顔をキレイに

トイレは町の顔では

町長 財政も考慮

Q

公衆トイレは町の顔である。きれいなトイレは使用する人の心を温かくし、町を好きになつてくれる期待感がある。

整備と管理が急務では。

A

町長 公衆トイレは観光客に対し、町の顔の役割を果たしてお

り、いつもきれいにしておく必要がある。そのため、地元住民の皆様に定期的に清掃をしてもらっている。

しかし、築年数が経つており老朽化も激しく、また男女共用や和式トイレもある

ことから、観光客にとつて満足のいく現状ではない。

改修計画は定めていないが、現状を確認し、財政負担も考慮しながら、観光拠点のトイレを中心に改修していく。

Q
町の事情もあり、下水道事業が大きく遅れている阿曾浦・贊浦・古和浦の3地区との話し合いは進んでいるのか。また、今後の方向性は。

A

町長 下水道未整備3地区との話し合

いは、平成29年度より、合併浄化槽事業への転換を提案してきた。今年度も各地区長と住民への説明について協議を重ねている。今後は、令和元年6月に浄化槽法が改正され、地区の空地及び公共用地に複数戸が接続できる集合型合併浄化槽が設置可能となつたため、地区の理解を求めながら事業を進めていく。

下水道整備は

町長 転換を提案



新たな事業への転換

◆ 常任委員会 ◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・町税・産業・建設・防災・上下水道・
まちづくりなどについて調査や審査を担当。

活動報告

◆9月19日
調査事項

まちづくり推進課所管

「ふるさと納税」について

- ふるさと納税の寄付金額の推移

- 寄付してくださる方々の割合

- お礼の品

等について調査しました。



◆10月29日
調査研修

静岡県吉田町

吉田町の「シーガーデンシティ構想」は津波防災まちづくりと賑わいまちづくりを一本化し豊かで勢いある魅力的なまちづくりをしている町です。



◆11月26日
調査事項

防災安全課所管

防災対策について

- 南伊勢町地域連携棟

等について現地視察のうえ調査しました。

◆10月21日

防災安全課

まちづくり推進課

観光商工課

◆10月28日

総務課

会計課

議会事務局

◆11月1日

建設課

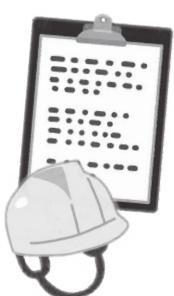
水産農林課

上下水道課



考になる施策が多数ありました。
安全なまちづくりには参考になりました。

令和元年9月10日、本会議において付託されました
平成30年度決算を3日間にわたり審議しました。



教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・
健康保険・介護保険などの調査や審査を担当

活動報告

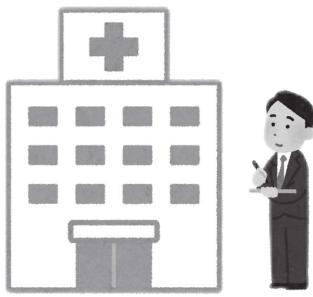
◆9月24日

調査事項

町立南伊勢病院について

- 新病院の施工状況・建築概要の確認。
- 新病院までの交通アクセス（ループバス）

等について現地視察・調査を行いました。



◆10月23日
調査事項

町内各小学校の視察
南勢小学校、南島東小学校、南島西小学校の順で視察を行い、各小学校の課題・避難場所等を調査しました。



◆11月18日
和歌山県日高川町
(子育て支援)

日高川町は、漁業と農業の違いがありますが、人口規模、産業構造が当町とほぼ同じで、一次産業中心の町です。行政課題も似たような内容でしたが、子育て支援を中心当委員会に付託されている調査を行いました。参考になる施策が多数ありました。

◆11月19日
視察研修

和歌山県白浜町
(サテライトオフィス)

白浜町は、観光中心の町ですが、早くからサテライトオフィス誘致を行っています。

介護人材派遣を行う企業のサテライトオフィスを誘致する自治体も出てきていいなか、誘致活動先進町を視察させて頂き、参考にさせて頂く内容が多数ありました。



◆10月21日

- 町立南伊勢病院
- 税務住民課
- 高齢者支援課

◆11月1日

- 教育委員会事務局
- 子育て・福祉課
- 環境生活課

令和元年9月10日、本会議において付託されました平成30年度決算を審議しました。

南伊勢町議会

各種団体との意見交換会を開く

町民全体で地域活性化へ → オール南伊勢を目指して！

今年度も議会改革の一環として、町内の各種団体との意見交換会を、役場南勢庁舎議場にて開催しました。

意見交換会は、「開かれた議会」を目指し、平成22年度から開催しており、新年号の令和に入った5月より、町立南伊勢病院の皆さんをはじめ婦人会、区長連絡協議会など9団体と意見交換会を実施しました。



◆婦人会◆

「まちづくりの現状と、
今後の取組について」



◆町立南伊勢病院◆

「今年度の病院の診療体制、
新病院の移転など」



◆観光協会◆

「これからの中伊勢町の観光について」



◆区長連絡協議会◆

「まちづくりの現状と、
今後の取組について」



◆ 障がい者支援団体 ◆

「障がい者支援団体の現状と、
今後の取組について」

◆ 介護事業所 ◆

「各介護事業所の現状と、
今後の取組について」



◆ PTA連合会 ◆

「学校教育の現状と課題と、
今後の取組について」



◆ 商 工 会 ◆

「これから商工事業の
目指す方向性について」



◆ 災害ボランティアコーディネーター ◆

「活動状況と今後の取組について」

私たちは議会をもっと身近に感じてもらえるように、議場を使っての意見交換会をおこなっております。最初は皆さん緊張されてますが、会議室とは違った雰囲気を楽しんでもらいながら、それぞれの分野での現状や課題、そして、思いをテーマに沿って、意見を交わして進めています。

日頃の取組や活動を通じて、現場からの有意義な意見を、今後の各委員会活動や全員協議会などで、議論を更に進めていきます。



ご意見
ありがとうございました

9月定例会で可決された「要望書のその後、」を追跡調査

～国政への50箇所を越える 陳情活動を実践～

11月20日(水)、21日(木)

▼小山町長、上村議長を先頭に、副議長、各常任委員会委員長、特別委員会委員長、行政職員で、国土交通省・財務省・議員会館の関係機関へ陳情活動を行い、要望書を提出しました。



陳情先 国土交通省 青木一彦 副大臣

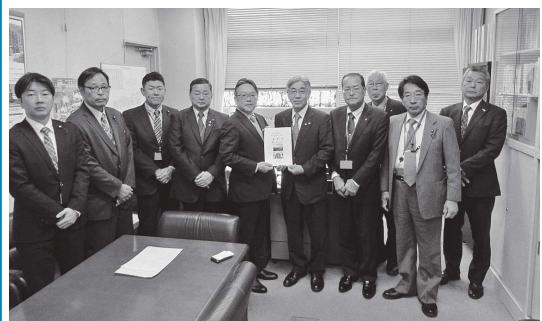


▼新妻秀規参議院議員、三ツ矢憲生衆議院議員秘書の方々にご同席いただき、南伊勢町の要望を副大臣へ直接懇願。



陳情先
財務省 中島朗洋 主計官

▼国の財政状況を伺い、町民にとって国道が「命の道」となっていることも訴えた。



陳情先
国土交通省 長橋和久 道路局次長

▼二日間の陳情活動には、三重県職員の方々も同行しご尽力いただきました。

新たな過疎対策法の制定と
水道事業の財政支援を強く求める



▼今回、議会で可決された2つの要望書と共に、「国道260号の道路整備事業」と「地籍調査事業」の要望書を町の総意として行政とともに強く国政へ訴えました。地方創生がぶれることなく進むよう、今後もオール南伊勢・オール三重で国へ訴えていきます。



▼衆議院・参議院の両議員会館へは、地元選出国会議員他、多くの国会議員事務室をまわり、南伊勢町の状況を訴え要望書を手渡しました。





ぎかい応援レター



ぎかい



30代女性

長尾 洋さんの壁画には感動しました！

10年ぶりに子どもと南島に帰ってきました。フェイスブックで紹介されてた大胆なデザインの壁画を見て、隣ですけど神前に寄つてみました！夏の御船祭りでしか来たことがなかったけど、え？場違い？何なん？仕掛けた役場の人？地元？何より受けてくれた長尾さん！凄い（笑）



50代男性

南勢小のみんな！感動をありがとう！！

涙！涙！涙やで！全日本なわとびかっとび王選手権NHK見たらよ…素晴らしいの一言やな！！選手のみんな、先生、そして保護者やスタッフのみんなも、本当に疲れさん（^_^）この頑張りとあのステージでやりぬいた経験は、一生ものの財産であり、あんたたちの誇りやで。こんな田舎やけど、みんなの頑張りで明るい光をあててもうたよ。ぜったいあんたらの熱い思いがこれから南伊勢をええ方向にもってってくれるで。本当にありがとう!!!!!!



70代男性

安心して利用できます。

待ちに待った新病院が開院しました。新しい施設はどこもかしこも良く、今度リハビリ室を利用しようと思います。何よりも駐車場が広く、通院も便利になりました。安心して通院できます。



minamiise

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^)/ みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じることを200字程度でつぶやいて、ハガキかFAXで送ってくださいね。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局宛 FAX 0599-66-2164

みんなでやつとるで～

「楽しさいっぱい!! 子育てサロン」

子育てサロンは、さくら保育園に併設された自然豊かな環境の中にはあります。毎月の誕生会・ふれあい広場（七夕会・リトミック・人形劇など）、季節に応じたイベント（おしゃべりカフェ・無料マーケットなど）子育てに関する講座（手形り・防災・歯科など）を開催しています。10月には、ふれあいセンターなんどうの会場をお借りしまして運動会をしました。子どもたちの大好きなアンパンマン達に職員やサポーターが変身しますと、握手したり、抱っこしてもらったりと大喜び。部屋中が笑顔と笑いに包まれたそれはそれは楽しい運動会になりました。

これからも、親子が楽しめるふれあい広場・イベント・講座等を考え、子育て中のお母さん達が交流をはかったり、情報交換ができる居心地の良い、癒やしづくりの場になるよう、ますます環境を整えていきたいと思います。



| 議会広報特別委員会 | |
|-----------|-------|
| 委員長 | 上村 久仁 |
| 副委員長 | 森 舌掛 |
| 委員 | 古橋 田 |
| 源 健 | 傳 志 |
| 久 夫 | 靖 育 |

編集後記

今年度、広報委員会では個々の編集技術を学ぶため町村議会広報全国コンクールで受賞された兵庫県多可町議会へ先進地視察を行い、多可町の広報委員会の方と活発な意見交換を行いました。南伊勢町議会の広報委員会とともに、ますます意欲的に取り組んでいきます。



表彰された
多可町議会だより

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。
FAX 05979(00)1781
05979(00)2164

11月28日に開催された天皇皇后両陛下主催の京都御所でのお茶会へ、上村議長が三重県町村議会議長会会長として招待されました。

